

公立大学法人横浜市立大学 八景キャンパス 平成29年度 環境報告書

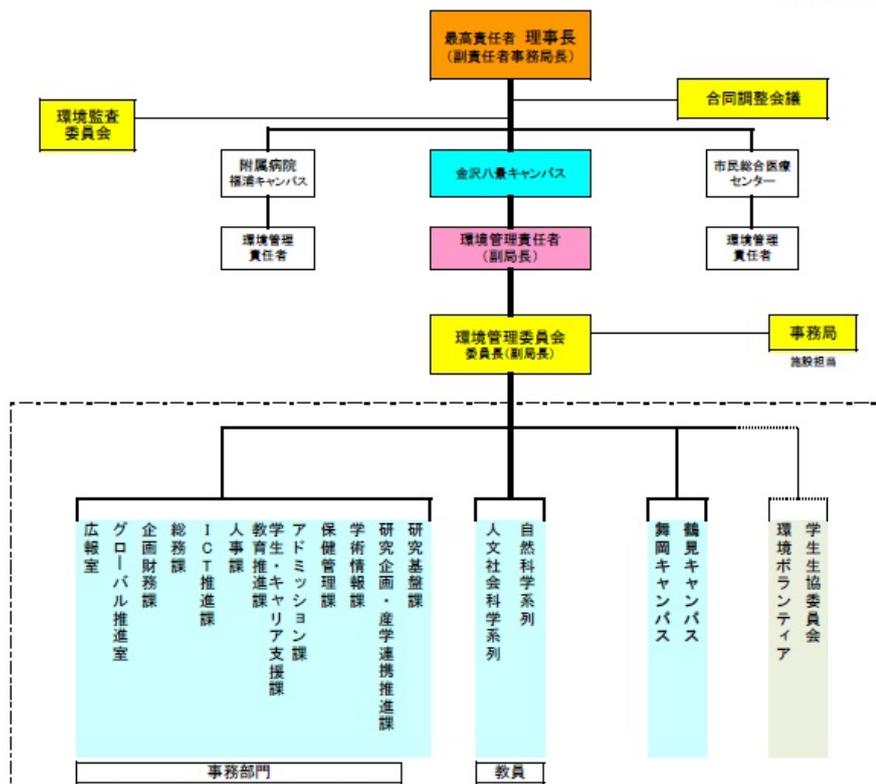
環境方針

公立大学法人横浜市立大学は、幅広い教養と高い専門能力を兼ね備え、21世紀の未来社会を担うリーダーシップと国際感覚を持つ人材を育成する中で、教育、研究、診療活動を通じて環境保全活動に積極的に取り組み、地域社会と地球環境に貢献します。

- 1 教職員、学生一人ひとりが環境配慮の行動を実践します。このため、全教職員、学生が参加できる分かりやすい仕組み作りを行うとともに、積極的な人材育成を行い、一人ひとりが環境保全の役割を果たします。
- 2 関連する環境の法令、条例、規則等を順守します。
- 3 環境保全・創造のための取組を、目標を掲げて継続的に推進します。
 - (1) 省資源・省エネルギーに努めます。
 - (2) 廃棄物の減量・リサイクルを実践します。
 - (3) 環境負荷の少ない製品の購入を推進します。
 - (4) 化学物質の適正管理を行い、環境汚染の予防に努めます。
 - (5) 環境教育及び環境保全活動により教職員・学生の協働による環境保全の取組を進めます。
- 4 この環境方針は本学の教職員、学生並びに本学に関わるすべての人々に対し周知すると共に一般の人にも公表します。

八景キャンパス 平成29年度 環境管理委員会組織図

平成29年4月1日



公立大学法人横浜市立大学 八景キャンパス・鶴見キャンパス・舞岡キャンパスでは環境配慮のために平成 21 年度より下記の取組を行っています。

取組項目

1. 省エネに関する取組（エネルギー量の削減）
2. 物品調達に関する取組（グリーン購入）
3. コピー用紙削減に関する取組
4. ゴミ減量化に関する取組
5. 業務の無駄の排除

1. 省エネに関する取組

平成 29 年度空調期間の使用量（直近実績±施設増減等）を 1%削減する。

◇◆主な取組◆◇

- ①パソコン、プリンタ、コピー機の電気削減
 - ・ 昼休みや離席時のこまめな電源 OFF
 - ・ パソコン、コピー機の待機時省電力機能の設定
- ②冷暖房の効率的運転
 - ・ 冷暖房温度の適正化（夏期 28℃ 冬季 20℃）
 - ・ ブラインドの使用
 - ・ 空気攪拌（扇風機）機の併用
 - ・ 不在時の電源 OFF
- ③消灯（夜間や昼休み）の徹底
 - ・ 使用していない部屋、トイレや廊下のこまめな消灯
 - ・ センサー付照明器具の推進
- ④省エネ当番制度
 - ・ 当番を決め消灯、電源 OFF を毎日チェックする
- ⑤エレベーターの使用
 - ・ 出来るだけ階段を使用する
- ⑥省エネ機器の推進
 - ・ 購入に際し省エネ機器を導入する

【各キャンパス空調期間中 電気、ガス使用量実績】

電気使用量 (kwh)

キャンパス名	平成29年度	目標値
八景キャンパス	3,686,606	3,872,865
鶴見キャンパス	3,550,630	3,852,258
舞岡キャンパス	1,518,625	1,807,937

ガス使用量 (m³)

キャンパス名	平成29年度	目標値
八景キャンパス	183,654	170,910
鶴見キャンパス	167,429	169,647
舞岡キャンパス	84,430	194,914

【結 果】

・電気

八景キャンパスは約5%削減、鶴見キャンパスは約8%削減、舞岡キャンパスは約16%削減

・ガス

八景キャンパスは約7%増加、鶴見キャンパスは約1%削減、舞岡キャンパスは約57%削減

【要 因】

・削減

- 1 空調システムの稼働内容の変更
- 2 一部施設の使用中断に伴い、空調を停止したため（舞岡キャンパス）

・増加

- 1 空調システムの稼働内容の変更

2 物品調達に関する取組（グリーン購入）

目標：総調達量に占める適合品の割合を100%とする。（適合品がない、機能を優先したものを除く）

※品物を買う際や印刷等の役務の提供を発注する際に、環境に配慮した物品（又は役務の提供等）を優先的に調達するための取組であり、施設等の備品等も含まれます。

【グリーン購入調達率実績】

キャンパス名	適合率 (%)
八景キャンパス	93
鶴見キャンパス	100
舞岡キャンパス	89

※対象品から「適合品が無いもの」と「機能がないもの」は省き、「価格優先」と「その他」については従来通り計算の対象とする。

【結 果】

・鶴見キャンパスのみ達成

【要 因】

- 1 価格優先、特注品のため

3 コピー用紙削減に関する取組

目標：各部、キャンパスにおいて平成 28 年度実績を超えないこととする。

◇◆主な取組◆◇

①コピー枚数の削減

- ・原則両面印刷
- ・コピー裏紙使用の推進

②コピーによる回覧の原則禁止

- ・スキャナーで読み取った電子ファイルを一斉送信することによる回覧
- ・Eメールでの転送

③通知文・照会文の電子メール化

- ・学内向け送付文書（通知、依頼など）の YCU-net 利用

④会議資料の削減

- ・会議を開催される場合は、極力、パワーポイントを活用する
- ・資料の配布は、電子メールで行なう
- ・紙で資料を配布される場合は、両面印刷を徹底する
- ・資料は極力使いまわすものとして、前回の資料を持参することや、変更部分の差し替えに努める
- ・資料は最小限に、「作らない、渡さない、求めない」

【紙の購入枚数の実績】（枚）

キャンパス名	平成 29 年度	目標値
八景キャンパス	4,192,075	3,986,176
鶴見キャンパス	78,000	92,000
舞岡キャンパス	60,000	58,500

【結 果】

八景キャンパスは約 5%増加、鶴見キャンパスは約 15%削減、舞岡キャンパスは 3%増加

【要 因】

増加

- ・ H30 年 4 月からの学部増設に向けた準備のため（八景キャンパス）

4 ゴミ減量化に関する取組

目標：キャンパス毎、廃棄物量と資源化量の合計値が八景キャンパス、舞岡キャンパスは平成 27 年度実績、鶴見キャンパスは平成 28 年度実績を超えないこととする。

◇◆主な取組◆◇

ゴミの減量化

- ・ ゴミ分別の徹底
- ・ 不要備品の再利用
- ・ 持ち込みゴミの禁止
- ・ 生ゴミの堆肥化

ゴミの資源化

- ・ ゴミ分別の徹底

【ゴミ廃棄量と資源化率】

		八景キャンパス	鶴見キャンパス	舞岡キャンパス
H29	廃棄物・資源化物量 合計 (kg)	175,442	16,464	11,079
	資源化率 (%)	64	35	31
目 標 値	廃棄物・資源化物量 合計 (kg)	156,473	17,378	17,779
	資源化率 (%)	65	40	16

【結果（ゴミ減量化）】

八景キャンパスは 12%増加、鶴見キャンパスは約5%削減、舞岡キャンパスは38%削減

【要因】

- ・ 増加
- ・ H28 年度に引き続き、理科館に伴う引越のため粗大ごみの増加（八景キャンパス）